

令和3年度丹後圏域地域リハビリテーション支援センター第2回事例検討会

障害福祉分野における対象者の生活をささえる支援と連携 ～リハビリテーション専門職の活用～

実 施 要 項

- 1 目 的 丹後圏域地域リハビリテーション支援センターでは、一人ひとりの状態に応じたリハビリテーションサービスが提供できる体制を目指し、地域の医療・介護・行政等の地域リハビリテーション関係者に学ぶ機会を設けている。
実践報告とグループワークを通じて地域のリハビリテーションの状況を理解し、課題解決に向けて検討することにより、関係者の連携体制の推進と関係職員の資質向上を図る。
- 2 今回のねらい ①地域での障害福祉を推進していく中での、リハ専門職の活用事案を知る
②障害福祉関係者とリハ専門職との連携体制を推進する
- 3 主 催 丹後圏域地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院内 電話 0772-62-8301)
- 4 日 時 令和3年12月14日(火) 午後1時30分～4時00分 (受付:午後1時00分～)
- 5 場 所 各所属先(Web開催のため)
- 6 内 容 1) 実践報告
「作業所に通う脊髄小脳変性症の方への関わり
～生活相談員・リハビリ専門職それぞれの立場から～(仮)」
京丹後市障害者相談支援事業所結 相談支援専門員 廣野 久美子 氏
丹後中央病院 作業療法士 平岡 有香 氏
2) 情報交換
参加者の各立場から対象者の生活支援と障害福祉関係者とリハ専門職の協働について考える。
- 7 対象者 丹後圏域の障害福祉関係者、地域リハビリテーション関係者
- 8 申込み方法 下記URLにてお申込み下さい。
締め切り 令和3年12月7日(火) 必着
※職場から一つのPC等を使用して複数で参加される場合も、参加者全員の申し込みをよろしく願います。

